バックアップ手順(Windows Storage Server 2012)

①「バックアップツール」を用いた定期バックアップ

「バックアップツール」は、Windows Storage Server 2012 標準の「Windows Server バックアップ」の制限事項を解消す るためのオリジナルのツールです。「バックアップツール」はバックアップ設定を複数作成出来るものになります。

- <「バックアップツール」の制限事項>
 - ※ バックアップツールは、複数のバックアップ作業を同時に実行することができません。バックアップツールでは複数の バックアップ設定を登録できますが、同時に実行されないよう、スケジュールを調整してください。
 - ※ バックアップ元の指定は、ボリュームもしくはフォルダ単位となります。ファイルのみの指定はできません。
 - ※ バックアップ先の指定は、論理ドライブ単位となります。ただし指定できるのはハードディスク(内蔵/外付け)のみで す。光学ドライブや共有フォルダは指定できません。
 - ※1 つのバックアップ先論理ドライブに対して設定できるバックアップセットは1つのみです。複数のバックアップセットを 設定しないでください。設定した場合、バックアップデータが後に実行されたものに上書きされてしまいます。 例えば、"DATA-A"フォルダのバックアップ先として論理ドライブ"E:"を指定した場合、"DATA-B"フォルダのバックア ップ先として"E:"を指定することはできません。

よって、1つのバックアップセットに対して1つのバックアップ先ハードディスクをご用意いただき、複数バックアップセットを登録する場合は交換しながら運用していただくことをお勧めいたします。

バックアップ先論理ドライブは、あらかじめ NAS バックアップ用 HDD フォーマッタでフォーマットしておいてください。

◎バックアップ手順

- 1. バックアップセットの登録
- (1) ロジテックツールメニューで[バックアップ]をクリックします。

6	ロジテックツール	 x
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) へ (字 中) 🔐 👔 🗊	<i>ルプ</i> (+)	
 	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

(2) [バックアップツール]が表示されます。



(3) 新しくバックアップセットを作成する場合は[新規]ボタンをクリックします。

<u> </u>		۶TV	ックアップツール		x
<u> </u>	バックアップ元	バックアップ先	スケジュール	最新のステータス	新規 =\\delta m XIII.tz

(4) 「バックアップ設定」ダイアログボックスが開きます。



(5) 各項目の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックします。

※ バックアップセットが登録されました。

複数のバックアップセットを登録する場合は再度[新規]ボタンをクリックし、バックアップセットを作成してください。 登録したバックアップセットの内容確認や編集をしたい場合は、登録されたバックアップセットをクリックし、[詳細/編集] ボタンをクリックします。

0	パックアップツール	X
	タイトル バックアップ元 バックアップ先 スケジュール 最新のステータス DATA_AフォルダバD¥Public¥DATAE: 毎日「00:00」に実行する 未実行	新規
		詳細/編集
		削除
		今すぐ実行

2. バックアップの実行状況確認

「バックアップツール」を用いて実行したバックアップの実行結果は、最新の実行状況については「バックアップツール」上の[最新のステータス]から確認することができます。

8		١Č	ックアップツール		
タイトル	バックアップ元	バックアップ先	スケジュール	最新のステータス	新規
DATA_Aフォルダバ	D:¥Public¥DATA		F2013/06/24 20:00	2013/06/24 20:14 完 2013/06/24 20:14 完 2013/06/24 20:14 完	7 冊/編集
					削除

最新のものではない実行状況の確認や、失敗していた場合のエラーログの確認等は、「Windows Server バックアップ」 を起動して行います。

(1) [サーバーマネージャー]より[ツール]をクリックし、プルダウンメニューから[Windows Server バックアップ]を選択します。

		2.77 (0) 21	
\mathbf{E}	⋺ • ・・ ファイル	, サ−ビスと記憶域サ−ビス・共有	・ ②
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域プール <mark>共有</mark> iSCSI	ま 有 す へての共有 合計: 1 タスク ▼ フィルター ア (注) ▼ (注) ■ ([i) ■ ([i] =	ホリューム LogitecNAS 上の public プリューム (D:) 容量: 15.0 GB 4% 使用 ● 使用 ● 空き報 Windows PowerShell (x86) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE W
			ボリュームの概要に移動 > コンポーネント サービス サービス クオーク LogitecNAS 上の public システム構成 システム構成 システム構成 システム構成 ウオータが限速付けられ ウォータが限速付けられ ウォータを設定するには、「クォータの構成」 す。 システム マイアウォール セキュリティが強化された Windows ファイアウォール セキュリティの構成のイザード タスク スケジューラ ドライクのデフラグと最速化 パフォーマンス モニター ウォータを設定するには、「クォータの構成」 す。 アイル マスク スケジューラ ドライクのデフラグと最速化 パフォーマンス モニター リーンス マネージャー リソース モニター リンース モニター ローカル セキュリティ ポリシー 印刷の管理

(2)「Windows Server バックアップ」が起動します。中央部の「メッセージ」にバックアップの実行状況が表示されます。

-	wbadmin -	[Windows Server パッ	ታምップ (ロ−カル)¥	¥ローカル バックアップ]		- 0	x
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)						
🗢 🔿 🙍 🖬 🚺							
Windows Server איזאדי איזאיזי איז איז איז איז איז איז איזאיזי איזאיזיי איז איז איז איז איז איזאיזיין איזאיזיין איזאיזיין איזאיזיין איזאיזיין איזאיזיין איזאיזיין איזאיזיין איזאיזיין א	ローカル バックアップ ジン このアプリケーションを 1 このコンピューターには、スクジ	使用して、単発のバックア ユールざれたバックアップが構成さ	ップを実行したり、 いていません。バックアップ	へ 定期的なバックアッフ マクラユール ウィザードをも	 操作 □ーカル バックアップ ☆ パックアップ スケジュール ※ 単発バックアップ ※ 回復 		•
	×>セーラ(先選からの活動。詳細で 時刻	表示するたは、メッセージをダブ メッセージ パックアップ	ルクリックしてくださは) 説明 成功	=	パフォーマンス設定の構成 表示 2 ヘルプ		•
	★新のハックアップ(L) 状態: ② 成功 時刻: 2013/06/24 20:00	次回 状態 時刻	の ハックアッノ(N) : 末スケジュール : -				

(3)「メッセージ」内の各行をダブルクリックすることで、個々のバックアップの詳細を確認することができます。



②「Windows Server バックアップ」を用いたスケジュールバックアップ

本製品には Windows Server 2012 標準の「Windows Server バックアップ」が標準搭載されています。 「Windows Server バックアップ」は様々な機能が搭載されていますが、ここではシステム・データの保全のためのスケジュールバックアップの手順を説明します。

- <「Windows Server バックアップの制限事項>
 - ※ バックアップ設定は1組しか登録できません。
 - ※ 実行時刻の設定は 30 分刻みでの指定(毎時 0 分・30 分のみ)しかできません。

これらの制限事項を回避するため、本製品には専用の「バックアップツール」が搭載されていますので、こちらもご活用ください。

◎バックアップ手順

1. バックアップの登録

(1) [サーバーマネージャー]より[ツール]をクリックし、プルダウンメニューから[Windows Server バックアップ]を選択します。

2		サーバー マネージャー		
\mathbf{E}	∋・ ・・ ファイル	, サ−ビスと記憶域サ−ビス・共有	• ② 🏴 管理(M) 🗾	JL(T) 表示(V) ヘルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <u>共有</u> iSCSI		 ボリューム LogitecNAS 上の public ボリューム (D:) 容量: 15.0 GB 4% 使用 ● 使用作 空き前 ボリュームの戦要に移動 > クォータ LogitecNAS 上の public クォータが関連付けられて クォータの構成」 す。 	NFS 用サービス ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (64 ビット) Windows PowerShell Windows PowerShell (X86) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE (X86) Windows Server /(ックアップ) Undows Server /(ックアップ) Staff Operation Virtal Virtal Virtal Virtal Virtal Virtal Virtal Virtal

(2) 「Windows Server バックアップ」が起動しますので、[バックアップスケジュール]をクリックします。

a	wbadmin - [Windows Server バックアップ (ローカル)¥ローカル バックアップ]		_ D X
ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示()	<u> Y</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
		_	
Windows Server バックア: ↓ ローカル バックアップ	ローカル バックアップ	Ĥ	操作
<u>u</u>	🛛 😻 このアプリケーションを使用して、単発のバックアップを実行したり、定期的なバックアップのス	2	□-カル バックアップ ▲ ・ ・ ・ ・
	▲ このコンビューター用のバックアップは構成されていません。バックアップ スケジュール ウィザードまたは単発バックアップ ウィザ してください。	-	 ● 単発バックアップ ● 回復
	メッセージ (先週からの活動。詳細を表示するには、メッセージをダブルクリックしてください)		パフォーマンス設定の構成
	状態		
	最新のバックアップ(L) 次回のバックアップ(N)		
	状態: - 状態:		

(3) 「バックアップスケジュールウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックします。

20	バックアップ スケジュール ウィザード X
はじめに	
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 確認 要約	このウィザードでは、バックアップの定期的な実行スケジュールを構成できます。 バックアップ スケジュールを作成するには、次の項目を決定しておく必要があります。 - バックアップの対象 (サーバー全体、システム状態、違択したファイル、フォルダー、またはボリューム) - サーバーをバックアップするタイミングと頻度 - バックアップの格納先 続行するには、[次へ] をクリックしてください。 <u>バックアップのスケジューリングの詳細</u>

(4)「バックアップ構成の選択」が表示されますので、バックアップの構成を選択します。

データやアプリケーション、システム状態等をすべてバックアップする場合は[サーバー全体]を選択します。 バックアップしたい項目を選択する場合は、[カスタム]を選択します。 選択したら[次へ]をクリックします。

ło	バックアップ スケジュール ウィザード
มังว่ <i>ร</i> งวัง	の構成の選択
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 確認 要約	 スケジュール設定する構成の種類を指定してください。 ● サーパー全体(推奨)(以) サーパー データ、アプリケーション、およびシステムの状態をすべてパックアップします。 パックアップ サイズ:11.25 GB ● カスタム(C) パックアップするポリュームやファイルを選択します。 パックアップするポリュームやファイルを選択します。 パックアップに含める項目の選択について ミア(P) 定へ(N) > 完了(E) キャンセル

【注意】

[サーバー全体]を指定してバックアップした場合、取得したバックアップから復元できるものは、データ領域のボリューム全体・ファイルやフォルダ・システム状態(アプリケーションは除く)のみになります。

システム領域(C ドライブ)のボリューム全体や、アプリケーション等を含めたシステム全体の復元(ベアメタル回復)には対応しておりません。ご了承ください。

. . . .

. . . .

(5)「バックアップの時間の指定」が表示されますので、バックアップを実行する時刻と1日の実行回数を指定します。

20	バックアップ スケジュール ウィザード	X
	時間の指定	
はじめに	バックアップを実行する頻度と時刻を指定してください。	o
バックアップの構成の選択	● 1 日 1 回(<u>0</u>)	_
バックアップの時間の指定	時刻の選択(E): 21:00	·
作成先の種類の指定	○ 1 日複数回(M)	
確認	選択可能な時刻のいずれかをクリックし、[追加] ます。	をクリックしてバックアップ スケジュールに追加し
要約	890 指定可能な時間:	スケジュールされた時間:
	0:00 0:30 1:00 1:30 2:00 2:30 3:30 3:30 4:00 4:00 4:30 ▼ スケジュールオブションの詳細 < 前へ(P) 次へ(N) >	21:00 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

.

(6)「作成先の種類の指定」が表示されますので、バックアップ先の設定を行います。

20	バックアップ スケジュール ウィザード	
作成先の種類	類の指定	
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先ディスクの選択 確認 要約	 バックアップの保存場所を指定してください。 バックアップ専用のハードディスクに「ックアップする(推奨)(B) このオプションを選択すると、最も安全に「、ックアップを保存できます。使用するハードディスクは 初期化されて、バックアップの保存専用になります。 ホリュームに「、ックアップの保存専用として使用できない場合に選択します。ホリュームが「、シックアップの保存に使用されている間、ホリュームの「フォーマンスは最大 200% 低下す る可能性があります。同じボリュームに他のサーバーデータを保存しないことをお勧めします。 共有ネットワークフォルダーに「、シクアップする(E) このオプションは、「、シクアップを1-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00	
	<u>保存場所の選択について</u> <前へ(E) 完了(E) キャンセル	

<保存場所>

[バックアップ専用のハードディスクにバックアップする]

バックアップ専用のハードディスクを用いてバックアップを行う際に選択します。

このオプションを選択した場合、そのハードディスクはバックアップ専用としてフォーマットされ、論理ドライブ番号が設定されません。エクスプローラー等にドライブが表示されないので、誤ってバックアップデータを消去してしまう等のミスを防ぐことができます。ただし、元々データが保存されているハードディスクを使用する場合、このオプションを選択するとフォーマットされてしまうため、あらかじめデータの退避等の作業が必要となります。

[ボリュームにバックアップする]

ボリュームに専用のフォルダを作成し、そのフォルダにバックアップデータを保存します。

ボリューム内にバックアップデータ以外のファイルを保存することができますが、エクスプローラー等からバックアップデー タを操作することが可能なため、注意が必要です。また、バックアップ中はハードディスクへアクセスが集中しますので、既 存データへのアクセス速度が著しく低下します。

[共有ネットワークフォルダーにバックアップする]

リモート領域にバックアップを行います。このオプションではバックアップは常に上書きされるため、世代管理ができません。

選択は可能ですが、バックアップデータの保全等の観点から、弊社では[バックアップ専用のハードディスクにバックアップする]を選択することを推奨します。弊社製 NAS バックアップユニット利用の際もこのモードを選択してください。

【ここからは、[バックアップ専用のハードディスクにバックアップする]を選択したものとして進めていきます。】

(7)「作成先ディスクの選択」が表示されますので、バックアップの保存先ディスクを選択して[次へ]をクリックします。 【注意】バックアップ先のディスクは自動的にフォーマットされ、既存のデータは消去されます。ご注意ください。

20	バックアップ スケジュール ウィザード
作成先ディス	クの選択
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定	バックアップの保存先ディスクを 1 つ以上選択してください。ディスクをオフサイトに保管する場合は、 複数のバックアップ ディスクを使用できます。 利用可能なディスク(<u>A</u>):
作成先の種類の指定	ディスク 名前 サイズ 使用領域 ディスク内のボ ダ 4 モニー E:¥
1420-014300 確認 要約	すべての使用可能なディスクを表示(<u>S</u>)
	<前へ(E) 次へ(N) > 完了(E) キャンセル

(8) バックアップ先に指定したボリュームがバックアップ元として指定されている場合、バックアップ元のリストから除外する 旨のアラートが表示されますので、[OK]をクリックします。

Windows Server バックアップ
バックアップする項目のリストにボリューム (E:) が含まれていま す。しかし、このボリュームはバックアップの保存先として指定されているディスク ディ スク 4 (います。バックアップからこのボリュームを削除しますか?
OK キャンセル

(9) バックアップ先のハードディスクがフォーマットされる旨のアラートが表示されますので、内容をご確認の上[はい]をクリ ックします。

Windows Server バックアップ
ウィザードを終了すると、選択したディスクは再フォーマットされ、そのディスク上にある 既存のボリュームおよびデータはすべて削除されます。障害対策を目的としてバック アップをオフサイトに移動できるようにするため、また、バックアップの整合性を確保す るために、選択したディスク全体がバックアップの保存専用となり、エクスプローラーに は表示されなくなります。 選択したディスクを使用するには、[はい]をクリックしてください。
(はい(<u>Y</u>) いいえ(<u>N</u>)

(10) バックアップ先のディスクがフォーマットされ、バックアップスケジュールの設定内容が表示されます。 設定に問題が無ければ[完了]をクリックします。

10	バックアップ スケジュール ウィザード	x
確認		
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 作成先ディスクの選択 確認 要約	次のバックアップスケジュールが作成されます。 バックアップの時間: 21:00 除外ファイル: なし 詳細オプション: VSS 完全バックアップ バックアップ先 名前 ラベル サイズ 使用領域	
	バックアップ項目 名前 つ システム状態 働、ペア メタル回復 ゆ ポリューム (D:) ゆ ローカル ディスク (C:)	
	<前へ(P) 次へ(N) > 完了(E) キャンセル	

(11) 以上でバックアップスケジュールの設定は完了です。「閉じる」をクリックしてウィザードを終了します。

	バックアップ スケジュール ウィザード
要約 要約	
はじめに バックアップの構成の選択 バックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 作成先ディスクの選択 確認 要約	状態: バックアップスケジュールが作成されました。 回目のスケジュールされたバックアップは 2012/10/25 21:00 に実行されます。 スケジュールされたバックアップの保存に使用するディスクがこのコンピューターに接続され、使用できる状態になっていることを確認してください。
	<前へ(P) 次へ(N) > 閉じる(C) キャンセル

③ 復元

「バックアップツール」で取得したものも含め、バックアップデータから復元する場合は、「Windows Server バックアップ」 から操作を行います。

く復元できる項目>

- 1. ファイル・フォルダ
- 2. データ領域のボリューム全体…「Windows Server バックアップ」でボリューム全体をバックアップ項目に指定した場合のみ可能

3. システム状態…「Windows Server バックアップ」で「システム状態」をバックアップ項目に指定した場合のみ可能 (バックアップ構成で「サーバー全体」を選択している場合は上記全ての復元が可能です)

【注意】

システム領域(C ドライブ)のボリューム全体や、アプリケーション等を含めたシステム全体の復元(ベアメタル回復)には 対応しておりません。ご了承ください。

- 1. ファイル・フォルダの復元
- (1) [サーバーマネージャー]より[ツール]をクリックし、プルダウンメニューから[Windows Server バックアップ]を選択します。



(2)「Windows Server バックアップ」が起動しますので、[回復]をクリックします。

🖀 wbadmin - [Windows Server バックアップ (ローカル)¥ローカル バックアップ]			x
ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻) ハルブ(出)			
 Windows Server バックア □ーカル バックアップ ごのアプリケーションを使用して、単発のバックアップを実行したり、定期的なバックアップのス ▲ このコンピューター用のバックアップは構成されていません。バックアップスケシュール ウィザードまたは単発バックアップ ウィザしてください。 メッセージ (先週からの活動。詳細を表示するには、メッセージをダブルクリックしてください) ◎ ● メッセージ 説明 		ッ プ ジュール f ∂定の構成	•
状態			
最新のバックアップ(L) 次回のバックアップ(<u>N</u>)			
状態: - 状態: ************************************			

(3)「回復ウィザード」が表示されます。バックアップの保存場所を指定し[次へ]をクリックします。

10	回復ウィザード	×
් ශ්රීන්ධ		
は心めた パックアップの日村の選択 回復の運動の選択 回復する頃目の選択 回復オプションの指定 確認 回復の進行状況	このウィザードでは、ファイル、アプリケーション、ポリューム、またはシステム状態を、以和作成したパックアップから回復できます。 回復に使用するパックアップの保存場所を指定してください。 ③ このサーバー (-ビ::.IL:NF:5)(T) ③ 別の場所に保存されているパックアップ(A) 続行するには、[次へ]をクリックしてください。 サーバー データの回復の詳細	
	< 前へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャン	/zı

(4)復元したいバックアップの取得日付を選択し[次へ]をクリックします。

10	回復ウィザード	×
	回復ウィザード 知用可能な最も古いV(シクアップ: 2013/06/13 12:11 利用可能な最も古いV(シクアップ: 2013/06/24 20:00 利用可能な(シクアップ: 2013/06/24 20:00 利用可能な(シクアップ(A) 回復に使用する/シップの日付を選択して(ださい、太字の日付の/シクアップを使用できます。 1 2013年6月 日 月 2 3 9 10 11 12 9 10 16 17 18 19 23 24 25 26 27 28 29 20	X
	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 <前へ(P) 次へ(N) > 回復(P) キャンセル	

(5) [ファイルおよびフォルダー]を選択し[次へ]をクリックします。

10	回復ウィザード
ション 回復の種類	Dの選択
はじめに バックアップの日付の選択 回復の理算の選択	回復する項目を指定して伏さい。 アァイルおよびフォルダー(F) このパックアップに含まれるポリュームを参照して、ファイルやフォルダーを選択できます。
回信の理想の理想 回復する項目の選択 回復オプションの指定 確認 回復の進行状況	 Hyper-V(H) 仮想マシンを元の場所または別の場所に復元するか、仮想マシンの仮想ハード ディスク ファイルをコピーできま す。 ポリューム(V) ポリューム全体を復元できます (C: に保存されているすへてのデータなど)。 アプリケーション(A) Windows Server パックアップに登録したアプリケーションを回復できます。 システム状態(S) システム状態(S) システム状態(S)
	回復の実行の詳細 < 前へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャンセル

(6) 復元したいファイル・フォルダを選択し、[次へ]をクリックします。

Ð	回復ウィサ	/ - *	
。 🥼 回復する項	目の選択		
はじめに バックアップの日付の選択 回復の種類の選択	[利用可能な項目] のツリーを参照し、回 下の項目をクリックして、回復対象を選択 利用可能な項目(A):	復するファイルまたはフォルダーを探し してください。 回復する項目:	てください。 ツリー内または [名前] の
回復する項目の選択	E-m ontexter	名前 🔺	変更日
回復オプションの指定	■ □ □ □ −カル ディスク (D:)	text. dummy	2013/06/13
確認	DATA_A		2013/00/13
回復の進行状況			
	[利用可能な項目 ルを指定したい: 定をします。	1]内でフォルダ 場合は[回復す	を指定し、ファ 「る項目]内で!
	< 前へ	(P) 次へ(N) > 回	復(R) キャンセル

(7)回復オプションを指定します。

はじめに バックアップの日付の選択 回復の種類の選択 回復する項目の選択 回復オプションの指定	回復先 元の場所(1) 別の場所(A)
確認 回復の進行状況	バックアップ内の項目が回復先に既にある場合 ● コピーを作成して両方のバージョンを保持する(C) ○ 回復したパージョンで既存のパージョンを上書きする(0) ○ 回復先に既に存在する項目は回復しない(D)
	セキュリティ設定 ✓ 回復するファイルまた(おフォルダーに対し、アクセス影響リスト (ACL) のアクセス許可を復元する(S)

<回復先>

[元の場所]

バックアップ時と同じフォルダへ復元されます。

このオプションを選択した場合、復元先のフォルダ内にある同名ファイルの処理方法を[バックアップ内の項目が回復先に 既にある場合]のオプションで選択する必要があります。

[別の場所]

復元先のフォルダを指定します。

<バックアップ内の項目が回復先に既にある場合>

復元先フォルダに同名ファイルが存在した場合の処理方法を選択します。

[コピーを作成して両方のバージョンを保持する]

復元先フォルダに同名ファイルがあった場合、復元したファイルのファイル名を変更し、さらにバックアップを取得した日付が ファイル名に付加されます。

[回復したバージョンで既存のバージョンを上書きする]

同名ファイルがバックアップデータで上書きされます。そのため、復元先フォルダ内の既存データが上書きされてもよいかを あらかじめ確認しておく必要があります。

[回復先に既に存在する項目は回復しない]

同名ファイルがある場合はバックアップデータで上書きせずに既存データを保持します。

くセキュリティ設定>

NTFS のアクセス制御リストのアクセス許可をバックアップデータから復元させたい時にはチェックを入れます。

(8)確認画面	āが表示されるので、項目・復元先等を確認し、[回復	复]をクリックします。
9.00	同復ウノザード	×

<u>ت</u>	回復ワイサード		
🌛 確認			
はじめに バックアップの日付の選択	使用するバックアップ: 2013/06/24 20:00 回復項目:		
回復の種類の選択 回復する項目の選択 回復オプションの指定	D:¥Public¥DATA_A¥ •• Y ··· y		
確認 回復の進行状況			
	回復先: 元の場所 回復オデション: 回復したファイルのフピーを作成する		
	セキュリティ設定: 回復		
	<前へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャンセル		

(9)復元作業が始まります。

作業中は以下の[回復の進行状況]画面が表示されます。

10	回復ウィザード	x
ション 回復の進行	伏況	
はじめた バックアップの日付の選択 回復の種類の選択	ファイルの回復の進捗状況: 状態: 回復を実行しています	
回復する項目の選択 回復すずについ避択	回復の詳細(R):	
確認	項目 回復先 状態 転送済みのデータ	
回復の進行状況	D:¥Public D:¥Public¥DAT 3% アイル回 336.25 MB/10.0 D:¥Public D:¥Public¥DAT 0 KB/0 KB	
	ウィザードを終了するには、「閉じる」 をクリックします。一回復操作は、引き続きパックグラウンドで実行されま の操作の進捗を表示するには、Windows Server パックアップ コンソールから実行中のパックアップのメッ を聞いてください。	上す。 こ たージ
	<前へ(P) 次へ(N) > 閉じる(C) キャンセル	,

2. データ領域のボリューム全体の復元

(1) [サーバーマネージャー]より[ツール]をクリックし、プルダウンメニューから[Windows Server バックアップ]を選択します。

		サーバーマネージャー		
\mathbf{E}	∋・ ・・ファイル	,サービスと記憶域サービス・共有	• ② 🚩 管理(M) 🧕	<mark>/ール(T)</mark> 表示(V) ハルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール 共有 iSCSI		ボリューム LogiteCNAS 上の public ポリューム (D:) 容量: 15.0 GB 4% 使用 ●使用 ● 使用	iSCSI イニシエーター NFS 用サービス ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (64 ビット) Windows PowerShell Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows Server バックアップ Windows Server バックアップ Windows Server バックアップ インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー
			ポリュームの概要に移動 > クオータ LogitecNAS 上の public クオークが関連付けられて クオータを設定するには、[ウオータの構成] す。	コンピューターの管理 コンポーネント サービス サービス システム構成 システム情報 セキュリティが強化された Windows ファイアウォール セキュリティの構成ウイザード タスタ スクシューラ ドライブのデフラグと最遠化 パフォーマンス モニター ファイル サーバー リソース マネージャー リソース モニター ローカル セキュリティ ポリシー 印刷の管理

(2)「Windows Server バックアップ」が起動しますので、[回復]をクリックします。

ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻) ヘルプ(H)	
 ・・・・・ ・ ・・ ・ ・	 条件: →カル パックアップ へ 当年のパックアップ スケジュール 単年パックアップ 回復 パブオーマンス設定の構成 表示 へルプ

(3)「回復ウィザード」が表示されます。バックアップの保存場所を指定し[次へ]をクリックします。

10	回復ウィザード	×
🕹 ம்லம		
はじめに パックアップの日付の選択 回復の種類の選択 回復する項目の選択 回復オプションの指定 確認 回復の進行状況	このウィザードでは、ファイル、アプリケーション、ボリューム、またはシステム状態を、以前作成したパックアップから回復できます。 回復に使用するパックアップの保存場所を指定してください。 ● このサーバー (-い:・1・LTR=5)(T) ● 別の場所に保存されているパックアップ(A) 総行するには、「次へ」をクリックしてください。 サーバーデータの回復の詳細	

(4) 復元したいバックアップの取得日付を選択し[次へ]をクリックします。

回復ウィザード			
الله المعنى المحكم ا المحكم المحكم ا	2日付の選択 利用可能な最も古いバックアップ: 2013/06/13 12:11		
パックアップの日付の選択 回復の運動の選択 回復オプションの指定 確認 回復の進行状況	利用可能な最新のパックアップ: 2013/06/24 20:00 利用可能な見新のパックアップ: 2013/06/24 20:00 利用可能なパックアップの日付を選択して伏さい、太字の日付のパックアップを使用できます。 2013年6月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 30 パックアップの日付: 2013/06/24 時刻(T): 20:00 ∨ 場所: 11111/(E:) 状態: オンラインで利用可能 回復できる項目: ローカルティスク(D <a href="https://www.stationality.com/particulation-com/pa</td>		

(5) [ボリューム]を選択し[次へ]をクリックします。

10	回復ウィザード			
● 回復の種類	面の選択			
は は <i>は</i> <i>い</i> <i>い</i> <i>い</i> <i>い</i> <i>い</i> <i>い</i> <i>い</i> <i>い</i>	 四復する項目を指定して伏さい。 ファイルおよびフォルダー(F) このパックァップに含まれるポリュームを参照して、ファイルやフォルダーを選択できます。 Hyper-V(H) 仮想マシンを広び場所または別の場所に復元するか、仮想マシンの仮想ハード ディスク ファイルをつどーできま す。 『 ポリューム(Y) ポリューム全体を復元できます (C: に保存されているすべてのデーダなど)。 			
	 アプリケーション(A) Windows Server バックアップに登録したアプリケーションを回復できます。 システム状態(S) システム状態のみ復元できます。 			
	回復の実行の詳細 < 前へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャンセル			

(6) ソースボリュームと復元先のボリュームをそれぞれ選択し、[次へ]をクリックします。

10	回復ウィザード	×
	aの選択	
はじめに バッウアップの日付の選択 回復の種類の選択	'ソースポリューム'の下で、回復するポリュームのチェックポックスをオンにしてけたい。 '回復先ポリューム'の下で、回復先として使用する場所を選択してけたい。重要:このポリューム上のデーダ 復寝作の瞬時時にすって削除されます。必要なデータを含むポリュームは選択しないでけたい。	1.0
ボリュームの選択	ソースボリューム サイズ 回復先ボリューム サイズ 使用領域	¢
確認	🔽 🗹 ローカル ディスク 3469.04 GB ローカル ディスク (D:) 🛛 5.34 TB 2.05 TB	
[/ 復 遅	ソースボリューム] 、ックアップデータから 夏元したいボリュームを 選択します。	_
	< 前へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャンセル	

(7)回復先ボリュームの既存データが失われる旨のアラートが表示されますので、内容をご確認の上[はい]をクリックします。



(8)登録されたソースボリュームと回復先ボリュームが表示されますので、ご確認の上[回復]をクリックします。

		460010	
🌛 確認			
はじめに バックアップの日付の選択	使用するバックアップ: 2013, 回復項目:	/06/24 20:00	
回復の種類の選択	ソース ボリューム	回復先ボリューム	
ボリュームの遅択	ローカル ディスク (D:)	ローカル ディスク (D:)	
確認			
		<前へ(?) 太へ(!\) 回復(?)	キャンセル

(9) 復元操作中は「回復の進行状況」が表示されます。

0		回復ウィザード		
ション 回復の進行	元状況			
はじめに バックアップの日村の連択 回復の運気の選択 ポリユームの避択 確認 ②彼の進行状況	ボリュームの回復の進捗状況 状態: 回復の賃料(代): 月日 回復先 月日 回復先 ーカルデ D: ウボナーを続了するには、「簡の選邦の進捗を表示するには、「簡の選邦の進捗を表示するには、「簡の選邦の進歩を表示するには、「簡の選邦のなどろい。	: す 秋服 6% ポリエーム じる] をクッックします。一回復提 い、 Windows Server バックアック	転送済みのデータ 1.38 GB/20.34 (fid. 引き続き/シグラウンドで) プコンソールから実行中の/シグラ	載行されます。 ご 9/10/5セージ
	ウィザードを終了するには、「酢 の強作の進歩を表示するには を聞いてください。	じる] をクルクします。 — 回復複数 、Windows Server パックアッ < 前へ(?) 次へ(い)	作は、引き続き/%クグラウンドで? プコンソールから実行中の/%クグ > 聞じる(C) =	実行されま ップのメッセ キャンセル

3. システム状態の復元

ここでの「システム状態」とは、バックアップ時の「Windows システムファイル」・「レジストリ」・「COM+クラス登録データ ベース」・「システムファイル等のブートファイル」等の事を言います。インストールされたアプリケーションソフトやユーザ ーデータは含まれません。

(1) [サーバーマネージャー]より[ツール]をクリックし、プルダウンメニューから[Windows Server バックアップ]を選択します。



(2)「Windows Server バックアップ」が起動しますので、[回復]をクリックします。



Windows Storage Server 2012 バックアップ手順(V_01)

(4)1	复元したいバックアッ	『の取得日付を選択し[次∕	ヽ]をクリックします。
------	------------	---------------	-------------

(5) [システム状態]を選択し[次へ]をクリックします。

10	回復ウィザード		
ション 回復の種類の	の選 択		
はじめに パックアップの日村の選択 回復の運動の置後たの場 確認 回復の進行状況	 回復する項目を指定して伏さい。 ファイルおよびフカルダー(F) このパッグアップた含まれるポリュームを参照して、ファイルやフカルダーを選択できます。 Hyper-V(H) 仮想マシンの仮想ハード ディスク ファイルをコピーできま す。 ポリューム公(M) ポリューム全体を復元できます (C: に保存されているすべてのテーダなど)。 アプリケーション(A) Windows Server バッグアップた登録したアプリケーションを回復できます。 システム状態(S) システム状態のみ、復元できます。 回復の実行の詳細 < 南へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャンセル		

(6) [元の場所]を選択し[次へ]をクリックします。

6	回復ウィザード	x
غک ر چک	態の回復先の場所を選択	
はじめに パックアップの日付の選択 回復の運賃の選択 システム状態の回復先の場。 確認 回復の進行状況	 システム状態の回復先を指定してください。 ① 元の場所(0) このオプションはシステム状態を復元します。操作の最後に再起動が必要です。 ③ 別の場所(A) このオプションは、システム状態を一連のファイルとして指定の場所にコピーします。 	
	<前へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャンセル	

(7)確認画面が表示されるので、[回復処理の完了のためにサーバーを自動的に再起動する]にチェックが入っていることを 確認して「回復]をクリックします。

10	回復ウィザード	x
建 確認		
はじめに パックアップの日付の違択 回復の種類の違択 システム状態の回復先の場 確認 回復の進行状況	使用するパックアップ: 2013/06/26 15:36 回復項目: システム状態 ✓ 回復処理の完了のためにサーバーを自動的に再起動する(A) 回復先: 元の場所	
	< 前へ(P) 次へ(N) > 回復(R) キャンセル]

※システム状態の復元が完了すると自動的に再起動がかかりますのでご注意ください。

≪付録≫バックアップ用 HD フォーマッタ使用手順

本製品に接続する、USB 外付けハードディスク用の専用フォーマッタです。

く注意>

本製品に USB 外付けハードディスクを接続した際にはこのフォーマッタであらかじめ HD のフォーマット・修正の適用を行っ てください。本フォーマッタでフォーマットされていない USB 外付けハードディスクでバックアップを行った場合、本製品が正 常に動作しない場合があります。

◎フォーマット方法

(1) [ロジテックツール]の[バックアップ用 HD フォーマッタ]をクリックします。

(')	©	ロジテックツール		
	ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)		
		ロジテックツール Ver 3.30		
		ロジテックツールでは、お知らせメール、電源設定など、NAS ただくための機能をご利用いただけます。	製品を便利にご活用い	
		記 お知らせメール		
		Servers Man@CAS		
		()。 重源設定		
		P RAIDビルダー		
		暗号化と自動ロック/アンロック設定		
		5 Livo DP v 2		
		ゴックアップ用HDフォーマック バックアップ用HDフォーマック ビックアップ用HDフォーマック マック マック		
]		
(2)	Logitec NAS バ	ックアップ用 HD フォーマッタ」フ	が起動します。	
))	4	Logitec NAS バックアップ用HDフォ	t-रण्ठ x	
		<i>y</i>		
	ターゲット名	ドライブ 総容量	パーティション対応	
	LUGITEC LSV-BK	U2 USB Device E: 2.728 TB	GPT X	
2	パラメータ修正			
		(既存のデータは全て失われます。)(F)		
	ポリュームラベル		実行(D)	4)
	101 45:00			
	3			
			閉じる	5

① ターゲットドライブの選択リスト

接続されている USB 外付けハードディスクの一覧が表示されます。このリストで、フォーマットする対象の HD ユニットを 選択します。また、リストには下記の情報が表示されます。

ターゲット名 …… USB 外付けハードディスクの名称が表示されます。

- ドライブ ……… USB 外付けハードディスクの論理ドライブ名が表示されます。
- 総容量 ………… USB 外付けハードディスクの総容量です。 ※1 キロバイト=1,024 バイトの数値です。
- パーティション····パーティション形式が表示されます(MBR または GPT)。

対応 ………… 弊社 NAS 製品へ接続した際に発生する問題を回避するための修正が適用されているかを示します。 〇…フォーマット済みか、またはフォーマットの必要がない状態です。

- ×…修正の適用が必要な状態です。
- -…未フォーマットの状態です。

②「フォーマットする」チェックボックス:

修正の適用を行う際、対象のハードディスクを論理フォーマットするかどうかを選択します。このチェックボックスを"ON" にして実行した場合、対象のハードディスクに対して論理フォーマットが行われ、保存されていたデータは全て消去されま す。未フォーマットのハードディスクに対して本プログラムを適用する際にご利用ください。

③ ボリュームラベル入力用エディットボックス

「フォーマットする」チェックボックスが"ON"の場合のみ、有効になります。論理フォーマットを実行する際に付与されるボ リュームラベルを指定します。32 文字まで入力可能です。

④「実行」ボタン

「ターゲットドライブの選択リスト」で選択されているハードディスクユニットに対して、フォーマット/パラメータの設定作業を 実行します。論理フォーマットを実行する場合には数分、実行しない場合には数秒で作業は完了します。

⑤ 「閉じる」ボタン

本プログラムを終了します。本プログラムによるパラメータの修正処理実行中は、クリックしないでください。

(3)「ターゲットドライブの選択リスト」で、修正を行うハードディスクを選択します。

論理フォーマットを実行する場合には、「フォーマットする」チェックボックスを"ON"にします。保存されているデータは全 て消去されますのでご注意ください。また、論理フォーマットを行う場合には、ボリュームラベルを指定してください。デ フォルトでは、「LOGITEC HD」が適用されます。

設定を確認の上、間違い	ハがなければ 実行	」ボタンをクリック	してください。

ターゲット名 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	ACTIVITZ INC. LANKA	ドライブ	総容量 111 1	パーティション 11111	対応
パラメータ修う	E				
マラオーマ: ボリューム	ットする(既存のデータは含 、ラベル(V): LOGITEC H	èて失われ: D	ます。)(F)	実行(D)

(4)実行確認のメッセージボックスが表示されますので、内容をご確認の上、「はい」をクリックして処理を進めてください。



(5) 論理フォーマットを行う場合は数分、行わない場合は数秒で作業は完了します。 作業の完了をお知らせするメッセージボックスが表示されます。内容をご確認ください。

Logitec NAS バックアップ用HD	७४–२७७ 🗴
正常に終了しました。	
	ОК

(6)作業完了後、ターゲットドライブの選択リストの「対応」項目に、〇が表示されていることをご確認ください。

🌱 Logitec NAS バックアップ用HDフォ	-7% ×
ターゲット名 ドライブ 総容量 LOGITEC LSV-BKU2 USB Device E: 2.728 TB	パーティション 対応 GPT O
パラメータ修正 □フォーマットする(既存のデータは全て失われます。)(E) ボリュームラベル(⊻): LOGITEC HD	実行(<u>D</u>)
	閉じる

以上で作業は完了です。「閉じる」ボタンをクリックして本プログラムを終了してください。